

# 平成16年度の県予算の概要と、行財政改革の取り組みをご紹介します。



平成16年度は、4月に知事選挙が実施されたため、当初予算では、人件費などの義務的経費や継続事業を中心とした骨格予算となりました。6月補正予算では、新しい事業や政策的な事業について追加計上しましたが、ユニバーサルデザインとパートナーシップを県政運営の基本として、6つの分野における重点施策へ財源を重点的・効果的に配分するなど、厳しい財政状況の中にあっても、県政の重要課題に的確に対応できる予算となるよう編成しました。これらの結果、平成16年度6月補正後の一般会計予算規模は7,416億円となりました。

## 特集

# 平成十六年度予算と行財政改革

## 6つの分野における重点施策に取り組みます

### 1 あらゆる産業の元気づくり



魅力と個性ある農林水産業の振興や地産地消の推進、中小企業対策をはじめとする地場企業の活性化、雇用の創出、九州新幹線鹿児島ルート<sup>※1</sup>の全線開業を見据えた観光の振興などに取り組みます。  
〔主な事業〕

- 県産農産物の販路拡大や米政策改革に対応する生産対策などへの支援……………3億87百万円
- クイック融資制度の新設など中小企業や地域商店街の活性化に向けた取り組み……………1億89百万円
- 総合産業としての観光の振興を図るためのアクションプランの策定や観光客誘致に向けた取り組み……………1億12百万円
- ジョブカフェ<sup>※1</sup>設置をはじめ若年者・障害者などの就業支援や雇用創出に向けた取り組み……………4億22百万円 など

### 2 暮らしの原点「安全・安心なまちづくり」



県防災消防ヘリと熊本市消防艇との水難救助訓練

治安・防犯対策の充実、安全を確保する防災・危機管理対策の充実や消費者の視点に立った食の安全・安心の確保に努めます。  
〔主な事業〕

- 防災情報伝達システムの改善や災害防止のための施設整備など、防災対策の取り組み……………43億74百万円
- 犯罪のないまちづくりに向けた空き交番解消、少年非行総合対策などの推進……………32百万円
- 食の安全・安心確保のための新たな条例制定や検査体制の充実・食育の推進に向けた取り組み……………11百万円 など

### 3 「豊かな人間性や実力」を伸ばす教育・文化



家庭、地域との連携による教育の充実、地域の歴史や風土にはぐくまれた多彩なくまもと文化の創造、活用を進めます。  
〔主な事業〕

- 小学校1・2年生の基礎学力充実などのための35人学級の編制……………4億60百万円
- ハンセン病や同和問題などさまざまな人権課題や環境への理解を深めるための取り組み……………44百万円
- 伝統文化伝承活動への支援、アートポリスとユニバーサルデザインの普及・広報活動……………16百万円 など

### 4 支えあい、誰もが出番の福祉社会

次世代育成支援対策、超高齢社会の現状を見据えた健康づくりや高齢者支援の充実を図り、地域の縁による支え合いと誰もが個人として尊重されるまちづくりを進めます。



- 〔主な事業〕 つどいの広場(本渡市)
- ニーズに応じた相談、多様な保育サービスなど子育て支援の推進……………23億78百万円
  - 生涯を通じた健康づくりや介護予防のための取り組み……………32百万円
  - 住み慣れた地域で健やかに暮らすための福祉の拠点づくりへの取り組み……………2億62百万円
  - 男女共同参画社会づくりの推進……………30百万円 など

### 5 未来に続く県土づくり



九州新幹線鹿児島ルート<sup>※1</sup>の開業を県内全域の活性化につなげる取り組み、新駅などの交通ネットワークを構築するための道路整備やIT(情報技術)による利便性向上のための高度情報化を進めます。  
〔主な事業〕

- 九州新幹線の早期全線開業に向けた取り組み……………181億84百万円
- ネットワークを最大限に生かす道路整備など……………79億89百万円
- 電子申請受付システムの開発・運用など高度情報化への取り組み……………6億65百万円 など

### 6 美しい熊本「環境立県」



有明海の干潟

有明海・八代海の再生への取り組み、バイオマス<sup>※2</sup>の利活用や廃棄物の適正処理、水と緑の財産づくりに取り組みます。  
〔主な事業〕

- し尿、生活雑排水などの処理施設の整備促進……………34億80百万円
- バイオマスの全県的な利活用や廃棄物の適正処理の促進……………13億81百万円
- 公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場整備に向けた取り組み……………22百万円
- 間伐の促進や地下水保全などの森林の多面的機能の発揮に向けた取り組み……………1億12百万円 など

※1 / P.6「お知らせ」コーナー参照 ※2 / 家畜の排泄物、下水の汚泥、生ごみなど、動物から生まれた再生可能な有機性資源

